

2027年度

看護師特定行為研修

外科術後病棟管理領域パッケージ

募集要項



地方独立行政法人 広島市立病院機構

広島市立北部医療センター安佐市民病院

Hiroshima City North Medical Center Asa Citizens Hospital



2026年度 受講生の声

広島市立北部医療センター安佐市民病院
細原 聖史



手術室看護師として術中の看護の経験を積む中で術前から術後、退院までのケアの重要性を強く実感しました。この特定行為研修で培う知識、技術を臨床で発揮し、多職種、多部署と連携を深めながら患者さんの安全と質の高い周術期医療に貢献できるよう努めて参ります。

広島市立広島市民病院
立川 晴菜



患者さんの小さな変化に気づき、1人1人に寄り添い根拠に基づいた質の高い看護を実践していきたいです。特定行為研修で、専門的知識や臨床判断能力を身につけ、安心できる医療の提供に貢献していきたいと考えています。

1. 特定行為研修の目的・目標

目的

多様な臨床場面において、特定行為の実践に必要な専門的知識・技術・態度を習得し、医師からの手順書による指示を基に特定行為の判断、実施、報告の一連の流れを適切に行うための実践能力を養う。

研修目標

- 1 多様な臨床場面において、迅速かつ包括的にアセスメントできる能力を身につける
- 2 多様な臨床場面において、必要な治療を理解し、ケアに導くための基本的な能力を身につける
- 3 患者の安全に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実施する能力を身につける
- 4 問題解決にむけて、多職種と効果的に協働できる能力を身につける
- 5 多様な臨床場面において、医師からの手順書による指示を受け、実施の可否の判断、実施及び報告の一連の流れを適切に行うための基礎的な実践能力を身につける

2. 修了要件

本研修を修了するためには、次の要件を満たす必要があります。



- 1 共通科目の全履修と各単元の修了要件を満たし、筆記試験及び観察評価に合格すること
- 2 修了後、区分別科目を履修し、筆記試験、観察評価及び実技試験に合格すること

3. 研修内容と時間数

研修は、特定行為区分に共通に必要なとされる能力を身につける「共通科目」と各特定行為に必要なとされる能力を身につける「区分別科目」に分かれています。全科目講義・演習または実習を行い、共通科目履修後、区分別科目を履修します。本学の研修は、講義はe-ラーニングで個別履修、演習・実習は集合研修となり、区分別科目では、OSCE合格後臨地実習を行います。

1 共通科目		特定行為区分別に共通して必要とされる能力を身につけるための科目					2 区分別科目		各特定行為に必要なとされる能力を身につけるための科目						
科 目	時間数					特定行為区分	特定行為	時間数					評価方法		
	講義	演習	実習	評価	合計			講義	演習	実習	評価	合計			
臨床病態生理学	29	1		1	31	呼吸器(気道確保に係るもの)関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	8	—	5症例	1 (OSCE)	9+5症例	筆記試験、実技試験、観察評価		
臨床推論	26.5	16	1	1.5	45	呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更 非侵襲的陽圧換気の設定の変更	13.5	2	各5症例	1.5	17+各5症例	筆記試験、観察評価		
フィジカルアセスメント	17.5	8.5	13.5	5.5	45										
臨床薬理学	32.5	11.5		1	45	呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	気管カニューレの交換	7	—	5症例	1 (OSCE)	8+5症例	筆記試験、実技試験、観察評価		
疾病・臨床病態概論	37	3		1	41	胸腔ドレーン管理関連	低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更 胸腔ドレーンの抜去	10.5	1	各5症例	1.5	13+各5症例	筆記試験、観察評価		
医療安全学/特定行為実践	24.5	14	4.25	2.25	45	腹腔ドレーン管理関連	腹腔ドレーンの抜去(腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む)	7	—	5症例	1	8+5症例	筆記試験、観察評価		
合 計	167	54	18.75	12.25	252										
*e-ラーニングによる講義は自宅または広島市立北部医療センター安佐市民病院特定行為研修講義室での視聴が可能です。 *演習・実習等は集合形式で実施します。															
						栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	中心静脈カテーテルの抜去	6	—	5症例	1	7+5症例	筆記試験、観察評価		
						栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	7	—	5症例	1 (OSCE)	8+5症例	筆記試験、実技試験、観察評価		
						創部ドレーン管理関連	創部ドレーンの抜去	5	—	5症例	1	6+5症例	筆記試験、観察評価		
						動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	8	—	5症例	1 (OSCE)	9+5症例	筆記試験、実技試験、観察評価		
						栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	9	1	5症例	1	11+5症例	筆記試験、観察評価		
						術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	5.5	1.5	5症例	1	8+5症例	筆記試験、観察評価		
						循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	11	3	各5症例	2	16+各5症例	筆記試験、観察評価		

4. 研修終了者の声



広島市立北部医療センター安佐市民病院
森原 大輔

2023年度に当院で開講した外科術後病棟管理領域パッケージの第1号として受講いたしました。そして、2024年度より特定行為看護師として活動を始め、2024年度は87件、2025年度は132件の特定行為を実施しました。実施可能な特定行為の中でも当院ではPICC挿入の需要が高く、実施した特定行為の7割程度を占めています。現在は活動日を設けて、事前依頼や時には当日依頼を受けて特定行為の実践をしています。

特定行為は看護師としての視点と感性を持ち、患者に必要な処置を実践することにより真価を発揮すると思います。病院スタッフと患者それぞれのニーズを満たすことができる特定行為ですが、その存在はまだ身近にあるとは言えません。今後の医療と看護に多くの可能性を秘めている特定行為に、興味のある方は是非受講を検討してみてください。



5. 定 員 外科術後病棟管理領域 3名

6. 研修期間 1年間(2027年4月1日～2028年3月31日)

7. 受講資格

次の1から4のいずれの要件も満たしていることが必要です。

1	看護師免許を有すること
2	看護師の免許取得後、通算5年以上の看護実務経験を有すること
3	所属長の推薦を有すること
4	日本看護協会の会員であること

8. 募集受講生の今後の日程

今後の日程

2026年 11月16日(月) ～12月18日(金)	2027年 1月22日(金)	2月8日(月)	2月15日(月) ～26日(金)	4月12日(月)
願書受付	選考試験	合格発表	受講手続き	入校式・ガイダンス

9. 入学後のスケジュール(目安)

2027年4月12日	入校式・ガイダンス
2027年7月	共通科目修了
2028年1月	臨地実習修了 区分別科目修了
2028年2月中旬	修了式

10. 募集要項 募集要項及び各出願書類は当院ホームページからダウンロードをお願いします

11. 受講審査料 11,000円(税込)

12. 選考方法 筆記試験及び面接試験

13. 納付金

地方独立行政法人広島市立病院機構に所属する者 600,000円(税込)

地方独立行政法人広島市立病院機構に所属しない者 900,000円(税込)

※一旦納入された受講審査料及び受講料は原則として返金いたしません

問い合わせ先

広島市立北部医療センター安佐市民病院

教育研修管理センター 特定行為研修担当者

〒731-0293 広島県広島市安佐北区亀山南1丁目2-1

電話(代表): 082-815-5211

*祝祭日を除く月～金曜日の8:30～17:15までにご連絡ください

E-mail: kyoiku@asa-hosp.city.hiroshima.jp

病院広報をご覧ください



■アクセス

JR可部線「あき亀山駅」下車、徒歩すぐ

広島交通・広電バス・JRバス・備北交通
「北部医療センター安佐市民病院」下車 徒歩すぐ